

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年6月16日発行

— 2016.6.6 ~ 2016.6.12 — 第23週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市		宮 城 県 (含 む 仙 台 市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第20週	第21週	第22週	第23週
水痘	8 1.60	2 0.20		2 1.00	2 0.67			35 1.30	49 0.83	668	レ	○	○	○
流行性耳下腺炎	16 3.20		1 0.20	1 0.50	2 0.67			3 0.11	23 0.39	521	○	レ	○	レ
百日咳									0 0.00	9				
感染性胃腸炎	61 12.20	41 4.10	33 6.60	19 9.50	10 3.33	11 2.20		224 8.30	399 6.76	9,074	◎	◎	◎	◎
手足口病		1 0.10						1 0.04	2 0.03	21				
伝染性紅斑		1 0.10						4 0.15	5 0.08	241		○	レ	
突発性発しん	4 0.80	5 0.50	8 1.60		3 1.00	3 0.60		18 0.67	41 0.69	695	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		6 0.60			1 0.33			1 0.04	8 0.14	24				
インフルエンザ		2 0.13	1 0.13		1 0.20	10 1.25		2 0.05	16 0.17	28,016	◎	◎	レ	
咽頭結膜熱	2 0.40	4 0.40	1 0.20	6 3.00	3 1.00	4 0.80		26 0.96	46 0.78	386		○	○	○
流行性角結膜炎	2 2.00	2 0.67						2 0.33	6 0.50	64				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41 8.20	41 4.10	26 5.20		3 1.00	51 10.20		113 4.19	275 4.66	5,595	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎	3 3.00		1 1.00	2 2.00			1 1.00		7 0.58	160				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症							1 0.50	2 0.07	3 0.05	268				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	12				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	2	3		2		6			◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病			1										
	不明発疹症		1					4						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名(第22週)  
大崎管内 男性1名  
仙南管内 女性2名  
仙台管内 男性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: A型肝炎

仙台管内 男性1名  
レジオネラ症  
仙台管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

石巻管内 女性1名  
アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
仙台管内 女性1名、女性1名(第16週)  
後天性免疫不全症候群  
仙台管内 男性1名  
播種性クリプトコックス症  
仙台管内 男性1名、男性1名、女性1名(第22週)

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌感染症]  
石巻管内で警報継続中  
仙南管内で警報値を超えた  
[流行性耳下腺炎]  
仙南管内で注意報継続中  
[咽頭結膜熱]  
栗原管内で警報継続中

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

塩釜管内 第23週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

大崎管内のOUT関連 第21週採取分 OUT 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第20週採取分 (5.16～5.22)	第21採取分 (5.23～5.29)	第22採取分 (5.30～6.5)			
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	0件	2件	0件			
ヒメタニューモウイルス	0件	0件	1件			
アデノウイルス	0件	1件	0件			
ライノウイルス	3件	7件	0件			
サイトメガロウイルス	1件	2件	0件			
パラインフルエンザウイルス3型	1件	1件	0件			

## 4. 今週のコメント

【蚊媒介感染症】

2014年8月にデング熱の国内感染がおおよそ70年ぶりに発生しました。デング熱はデングウイルスを保有する蚊に刺されることで感染し、その症状は発熱、頭痛、筋肉痛、皮膚の発疹などです。まれに重症化して出血症状を発症することがあります。デングウイルスを媒介するヒトスジシマカは国内にも広く分布しており、海外ではデング熱以外にもジカウイルス感染症やチクングニア熱などを媒介します。蚊媒介感染症の予防策は蚊に刺されないようにすることと媒介蚊の防除です。屋外で活動する際には肌をできるだけ露出しない服装や虫よけを塗るなど蚊に刺されないよう注意しましょう。また、ヒトスジシマカは小さな水たまりでも繁殖し、約10日間で卵から成虫になるため、植木鉢の水など人工容器に溜まった水は週に一度は捨てるようにしましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

